

<b>ウニコナゾールP粒剤</b> <b>ロミカ粒剤</b>	<b>取扱メーカー：</b> クミカ、住友化学  <b>原体メーカー：</b> 住友化学
<b>成分：</b> ウニコナゾールP〔ジベレリン生合成阻害剤〕…0.040%	<b>性状：</b> 類白色細粒 <b>毒性：</b> 普通物 <b>消防法：</b> —

### 【品目特性】 .....

●出穂25～10日前に処理することにより、主に上位節間の伸長を抑制し、稈長を短縮する。このことにより稲の倒伏程度は1～2ランク軽減される。また、結果的に倒伏に至る場合でも、倒伏開始の時期が遅延される。

●倒伏の軽減あるいは倒伏時期の遅延により稲の登熟歩合が確保され、収量の安定化が得られる。また、収穫作業も容易となる。

●本剤の処理により稲の上位葉が直立気味になることが観察されるが、これは受光態勢として望ましいことであり、光合成能率の向上になる。

●使用時期は出穂25～10日前で、稲の倒伏予測がある程度可能な時期であるので、必要に応じて使用することができる。

●有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

### 【使用上のポイント】 .....

●散布に当たっては有効成分が均一に分布するよう湛水条件下での散布を行う。

●慣行の倒伏防止のための肥培管理、水管理などの基本技術を実行したうえで、本剤を使用する。

### 【薬効・薬害等の注意】 .....

●散布に当たっては水の出入りを止め、3～5cmの水深を保ち、散布ムラのないように田面に均一に散布する。散布後少なくとも7日間は落水やかけ流しはしない。

●黒ぼく土壌の水田では効果が十分に発揮されない場合があるので注意する。

●重複散布や多量散布は、後作物に影響する場合があるので使用量を厳守する。

●本剤を使用した水田土を野菜類の育苗用床土に使用しない。

### 【安全対策上の注意】 .....



### 【適用と使用法】 .....

作物名	使用目的	使用時期	10 a当り 使用量	本剤の使用回数	使用方法	ウニコナゾールPを 含む農薬の総使用回数
水稻	節間短縮による倒伏軽減	出穂25～10日前まで	2～3 kg	1回	湛水散布	2回以内 (種子浸漬は1回以内、 本田では1回以内)